

平成25年7月31日
東北電力(株)

お知らせ

平成24年度大型蓄電システム緊急実証事業公募における 当社申請事業の採択について

当社は、一般社団法人 新エネルギー導入促進協議会（代表理事 柏木孝夫氏）が公募する「平成24年度大型蓄電システム緊急実証事業」に応募していましたが、このたび採択されました。

本実証事業は、再生可能エネルギーの更なる導入拡大を目指し、気象条件で出力が変動する風力発電や太陽光発電の普及拡大に伴う周波数変動対策の新たな取り組みとして、変電所に大型蓄電池を設置し、最適な制御および管理技術を開発・確立することを目的としております。

当社といたしましては、本実証事業の検証結果を踏まえ、今後も東北地域に賦存量が豊富な再生可能エネルギーの導入拡大に取り組んでまいります。

【事業の概要】

中央給電指令所から、変電所に設置した大型蓄電システムに対して自動で出力調整指令を送信して、蓄電池の充放電制御を行うことにより、周波数調整力の拡大効果を検証する。

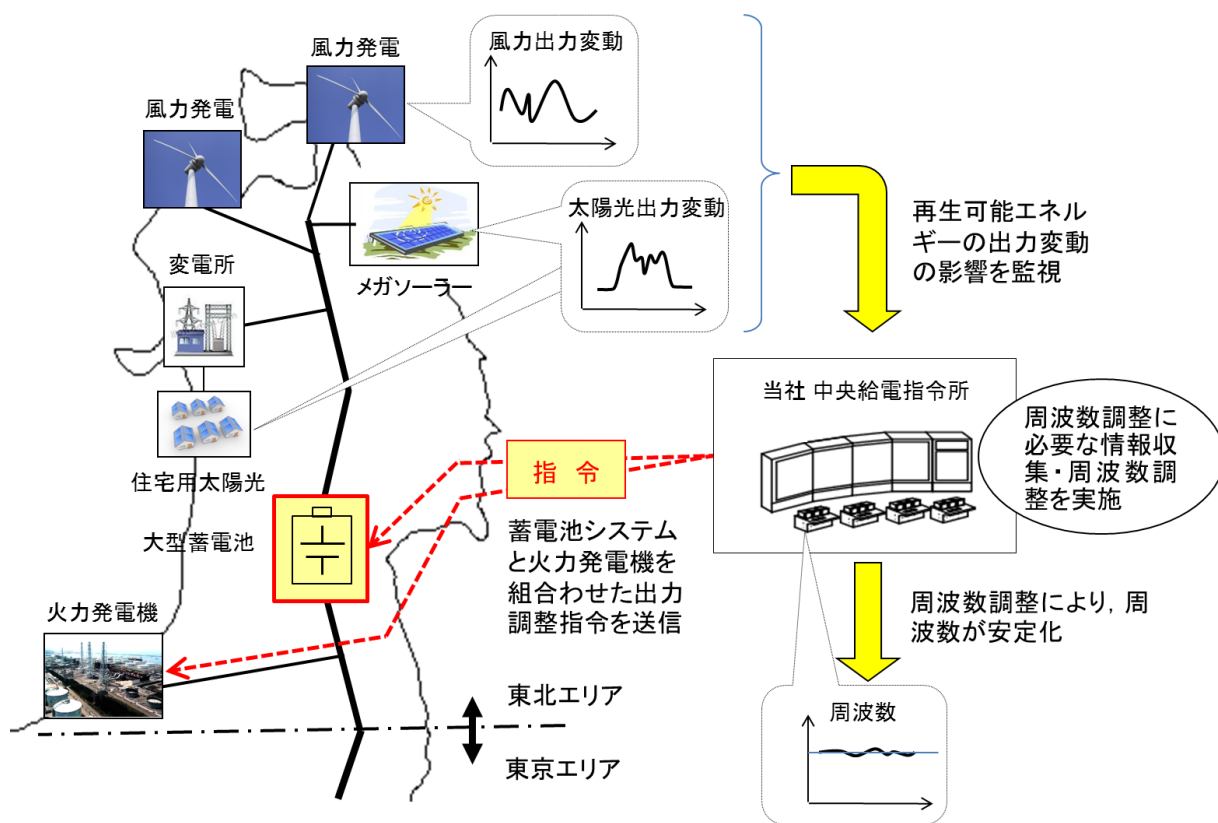
1. 設置場所 西仙台変電所
〔仙台市太白区秋保町〕（設置面積：4,800m²程度）
2. 実証設備 リチウムイオン電池（20,000kWh）
3. 事業期間 平成25年度～平成29年度
（平成27年2月を目途に設置工事を完了し、その後3年間で実証試験を実施予定）
4. 検証項目
 - ・蓄電池システムと火力発電機を組み合わせた周波数制御ロジック
 - ・実機による周波数調整力拡大の効果・影響
 - ・再生可能エネルギー導入拡大への効果
 - ・蓄電池の充電レベル、充放電ロス、寿命 等

以 上

（別紙）蓄電池システムイメージ、完成イメージ図

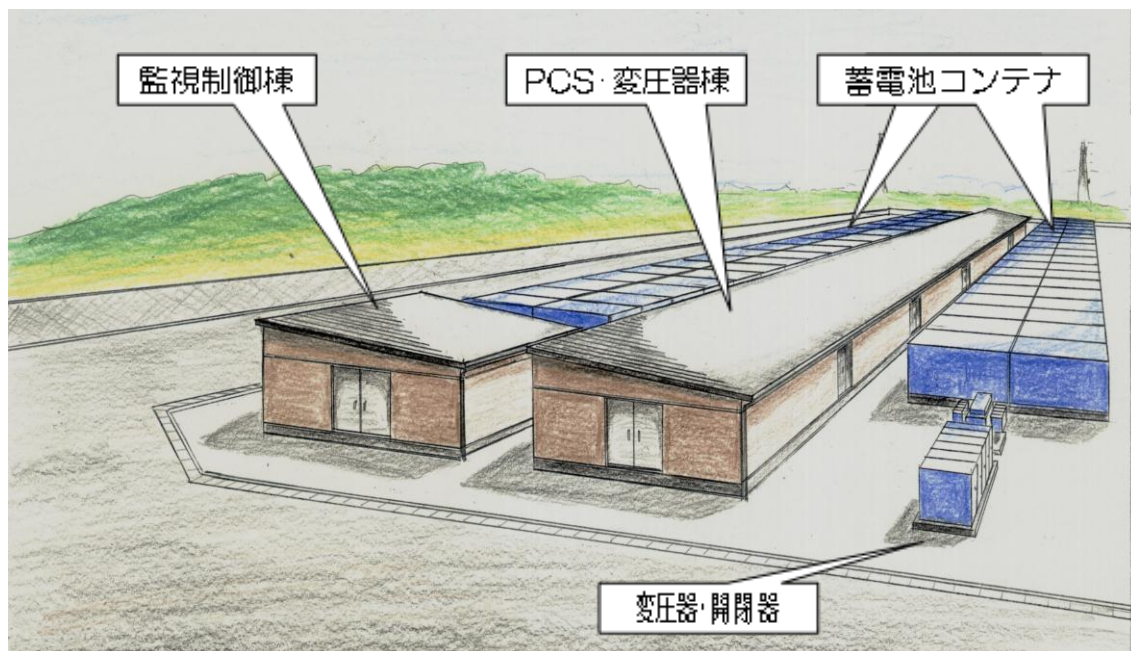
(別紙)

【蓄電池システムイメージ】



1

【完成イメージ図】



※PCS (パワーコンディショナ)

電力系統の交流電力を、蓄電池に充放電するために直流に変換する装置